

平成 25 年度論文一覧

【審査付論文】

[測地部]

- ・阿部聡・植田勲・白井宏樹・後藤勝広（関東地方測量部）・海老名頼利（2013）：Geomagnetic Surveys by the Geospatial Information Authority of Japan and the Contribution of the Kakioka Magnetic Observatory（国土地理院による地磁気観測と柿岡の貢献），Data Science Journal, 12, G1-G8
- ・栗原忍（2014）：世界と日本の測地 VLBI についてのまとめと考察 測地学会誌 第 59 巻 第 3 号 71-78

[応用地理部]

- ・宇根寛・青山雅史（（一財）日本地図センター）・小山拓志（大分大学）（2014）：2011 年東北地方太平洋沖地震による利根川下流低地の液状化被害発生地点の地形条件と土地履歴，地理学評論, Vol.87-2, 128-142
- ・宇根寛（2014）：沿岸域に関する国土地理院の地理空間情報の最近の動向，沿岸域学会誌, Vol.26 No.4, 5-12

[地理地殻活動研究センター]

- ・小荒井衛・中埜貴元（2013）：地理空間情報の時空間化の検討とつくば市における試作，GIS-理論と応用, vol.21, №1, 1-7.
- ・小沢慎三郎・矢来博（測地観測センター）（2013）：Quasi-periodic slow slip events in the after-slip area of the 1996 Hyuga-nada earthquakes, Japan（日向灘付近の準周期的なゆっくりすべりの発見），Journal of Geophysical Research, 118, 2512-2517.
- ・神谷泉・小荒井衛・関口辰夫（応用地理部）・佐藤浩（地理空間情報部）・中埜貴元・岩橋純子（応用地理部）（2013）：写真計測により捉えた 2008 年岩手・宮城内陸地震における地表面の変位量の分布，地学雑誌, 122 (5), 854-874.
- ・小沢慎三郎（2013）：Spatial and temporal evolution of the long-term slow slip in the Bungo channel, Japan（豊後水道スロースリップの時空間変化の推定），Earth, Planets and Space（地球，惑星，宇宙），65 巻, 67-73.
- ・宗包浩志（2013）：Subdaily noise in horizontal GPS kinematic time series due to thermal tilt of GPS monuments（GPS キネマティック時系列の水平成分に見られる、GPS モニュメントの熱傾斜に伴う誤差について），Journal of Geodesy（測地学雑誌），87, 393-401.
- ・神谷泉（2013）：サーバーPing マップによる異常事態の把握，GIS 理論と応用, 21(1), 29-34.
- ・西村卓也・松澤孝紀（防災科学技術研究所）・小原一成（東京大学地震研究所）（2013）：Detection of short-term slow slip events along the Nankai trough, southwest Japan using GNSS data（GNSS データを用いた西南日本南海トラフ沿いの短期的スロースリップイベントの検出），J. Geophys. Res. Solid Earth, 118, 3112-3125.
- ・岡谷隆基・乙井康成・中埜貴元・小荒井衛（2013）：新潟県出雲崎地区における航空レーザ計測データによる斜面脆弱性評価のための樹木の 3 次元要素の抽出，写真測量とリモートセンシング, vol.52, No. 2, 56-68.
- ・中埜貴元・小荒井衛・峰島貞治（日本スペースイメージング（株））・賀川義昭（（株）日立ソリュー

- ・ ションズ) (2013) : 地上画素寸法 0.5m 級光学衛星画像による地物判読性能, 地図, vol.51, No2, 36-43.
- ・ 小荒井衛・佐藤潤 (関東地方測量部) (2013) : 地理空間情報分野での人工衛星画像の利活用の動向, 地図, vol.51, No2, 3-10.
- ・ 熊木洋太 (専修大学) ・小荒井衛・中埜貴元 (2013) : 東京とその周辺の地形改変, 地学雑誌, 122, 6, 992-1009.
- ・ 小松原琢 (産業技術総合研究所) ・小荒井衛・黒木貴一 (福岡教育大学) ・岡谷隆貴・中埜貴元 (2013) : 2004 年新潟県中越地震による地すべり・斜面崩壊と東山丘陵の地形発達との関連, 地学雑誌, 123 (1), 48-68.

【審査無し論文】

[企画部]

- ・ 出口智恵・小野康・南秀和 (2013) : 国土地理院の地理空間情報活用の取り組み, 都市計画, 62(6) 5-9
- ・ 長谷川裕之 (2013) : 測量新技術の公共測量への適用について, 写真測量とリモートセンシング, 52(6), 282-284,

[測地部]

- ・ 山中雅之・森下遊・大坂優子 (2013) : 干渉 SAR 時系列解析による地盤沈下の検出, 国土地理院時報, 第 124 集, 1-14
- ・ 鈴木啓・吉川忠男・今給黎哲郎 (測地観測センター) ・西村卓也 (地理地殻活動研究センター) (2013) : アジア太平洋地域におけるジャワ島・スマトラ島の地殻変動監視, 国土地理院時報, 第 124 集, 15-21
- ・ 後藤清・林保・飯村友三郎・越智久巳一・日下正明 (北海道地方測量部) ・岩田和美・井上武久 (企画部) ・宮本純一・佐藤雄大・河和宏 (2013) : 測量の効率化・低コスト化を実現—スマート・サーベイ・プロジェクトの取り組み—, 国土地理院時報, 第 124 集, 65-71
- ・ 兒玉篤郎・森下遊・宮原伐折羅・河和宏・海老名頼利・黒石裕樹 (地理地殻活動研究センター) (2013) : 新しいジオイド・モデル「日本のジオイド 2011+2000」の構築 —中国・四国・九州地方におけるジオイド・モデルの改定—, 国土地理院時報, 第 124 集, 73-84
- ・ 森下遊・鈴木啓・小林知勝 (地理地殻活動研究センター) (2013) : 干渉 SAR 時系列解析による微小な変位量で進行する地盤変動監視の実用化へ向けて, 国土地理院時報, 第 124 集, 125-132
- ・ 小清水寛・村上真幸 (2013) : 地理空間情報の平面位置正確度の評価, 国土地理院時報, 第 125 集, 23-30
- ・ 栗原忍 (2013) : 4-station ultra-rapid EOP experiment with e-VLBI technique and automated correlation/analysis (e-VLBI 技術と自動化された相関処理／解析を用いた 4 観測局による迅速 EOP 計測実験), 21st Meeting of EVGA Proceeding, (第 21 回欧州 VLBI グループ会議収録), ISSN978-951-711-296-3, 233-236
- ・ 栗原忍 (2013) : Breaking Ground for the VGOS Antenna at Ishioka (石岡 VGOS アンテナ起工), IVS Newsletter (IVS Newsletter) Issue 36, 5
- ・ 福崎順洋 (2013) : New Project for Constructing a VLBI2010 Antenna in Japan (VLBI2010 アンテナの建設), IVS NICT Technology Development Center News, ISSN1882-3432, 33

- ・栗原忍 (2013) : VLBI2010 – Newly Established VLBI Station – (VLBI2010～新たな VLBI 観測局の整備～), IVS NICT Technology Development Center News, ISSN1882-3432, 37
- ・若杉貴浩 (2013) : Status report of the Tsukuba VLBI Station – damage of the antenna basement due to overloading – (つくば VLBI 観測局現況報告ー過負荷によるアンテナ基礎部の損傷ー), IVS NICT Technology Development Center News, ISSN1882-3432, 8
- ・栗原忍 (2014) : Recent Progress and Future Perspectives of the International VLBI Service for Geodesy and Astrometry (IVS) (国際 VLBI 事業 (IVS) の最近の進展と将来展望), 第 18 回国際レーザレンジングワークショップ集録 (オンライン誌), 2014/3/26 掲載, (<http://cddis.gsfc.nasa.gov/lw18/>)
- ・川畑亮二・栗原忍・福崎順洋・黒田次郎・田邊正・向井泰子 ((株) エイ・イー・エス)・西川誉 ((株) エイ・イー・エス)(2013): Tsukuba 32-m VLBI Station (つくば 32m VLBI 観測局), International VLBI Service for Geodesy and Astrometry 2012 Annual Report (国際 VLBI 事業 2012 年報), NASA/TP-2013-217511, 157-160
- ・栗原忍・農澤健太郎 ((株) エイ・イー・エス) (2013): Tsukuba VLBI Correlator (つくば相関局), International VLBI Service for Geodesy and Astrometry 2012 Annual Report (国際 VLBI 事業 2012 年報), NASA/TP-2013-217511, 212-215
- ・栗原忍・農澤健太郎 ((株) エイ・イー・エス) (2013): Tsukuba VLBI Analysis Center (つくば VLBI 解析センター), International VLBI Service for Geodesy and Astrometry 2012 Annual Report (国際 VLBI 事業 2012 年報), NASA/TP-2013-217511, 315-318
- ・阿部聡, 森下一, 小林勝博, 海老名頼利 (2013) : 国土地理院による地磁気秒値データ提供の開始について, Conductivity Anomaly 研究会論文集, 2013, 46-49
- ・白井宏樹 (2013) : 鹿野山測地観測所地磁気観測 50 年の変遷, Conductivity Anomaly 研究会論文集, 2013, 41-45

[地理空間情報部]

- ・高桑紀之 : 地理院マップシートの開発, 国土地理院時報, 第 124 集, 99-103.

[基本図情報部]

- ・藤原博行・大野裕幸・大塚力・瀧繁幸(2013) : Pleiades データを用いて作成した地図情報の精度評価, 日本写真測量学会, 平成 25 年度秋季学術講演会発表論文集, 175-178
- ・笹川啓 (2013) : 2 次期のだいち-PRISM 画像を用いた自動変化抽出の検討, 日本地図学会, 地図, VOL.51NO.2, 11-17

[応用地理部]

- ・鶴生川太郎 (2013) : 「コロンビア大学留学記 グローバル道路データ整備プロジェクトへの参加」, 月刊「測量」, 2013 年 10 月号, 24-25
- ・根本正美 (2013) : 「多色刷 2 万 5 千分 1 地形図を新たに刊行開始」, 月刊「測量」, 2013 年 11 月号, 51
- ・根本正美 (2013) : 「多色刷 2 万 5 千分 1 地形図を新たに刊行 – 2 万 5 千分 1 地形図をおよそ半世紀ぶりに一新」, 月刊「地理」, Vol.58-12, 4-5
- ・根本正美 (2014) : 「地理空間情報社会の 2 万 5 千分 1 地形図」, 月刊「地図中心」, 2014 年 1 月号, 20-24
- ・宇根寛 (2014) : 「新しい多色刷の 2 万 5 千分 1 地形図の作成・刊行」, 月刊「地図中心」, 2014 年 1 月号,

[測地観測センター]

- ・辻宏道・山口和典 (2013) : 電子基準点の GNSS 対応の現状と計画, 写真測量とリモートセンシング, 52(3), 114-120
- ・古屋智秋・酒井和紀・万所求・辻宏道・宮川康平・畑中雄樹 (地理地殻活動研究センター) ・宗包浩志 (地理地殻活動研究センター) ・川元智司 (地理地殻活動研究センター) (2013) : GNSS 解析ソフトウェアのマルチ GNSS 対応, 写真測量とリモートセンシング, 52(4), 159-164
- ・辻宏道・宮川康平・山口和典・矢萩智裕・大島健一・山尾裕美・古屋智秋 (2013) : 電子基準点の GNSS 対応, 国土地理院時報, 第 124 集, 139-148
- ・辻宏道・宮川康平・山口和典・矢萩智裕・大島健一・山尾裕美・古屋智秋 (2013) : Modernization of GEONET from GPS to GNSS, Bulletin of the GSI (Vol.61), 9-20

[地理地殻活動研究センター]

- ・黒石裕樹 (2013) : 半離散化ウェーブレット変換を応用した測地データの局在化信号分離の試み, 数理解析研究所講究録, 1869, 26-34.
- ・水藤尚(2014) : (第 1 章 4, 6 の一部) , 東日本大震災合同調査報告共通編 1 地震・地震動, 東日本大震災合同調査報告書編集委員会, 250.
- ・岡谷隆基・小荒井衛・中埜貴元(2013) : 津波被害を車で把握—360 度撮影, 画像ラボ, vol.24, No.11, 33-38.
- ・小荒井衛・岩橋純子 (2013) : 最新の計測技術を用いた変動地形学的調査, 地質と調査, 第 2 号 (通刊 136 号) , 30-35.
- ・西村卓也 (2013) : 北アルプス穂高連峰の隆起に関する測地学的検証〜一等三角点穂高岳での GNSS 観測〜, 国土地理院時報, 第 124 集, 117-123.
- ・小荒井衛 (2013) : 東日本大震災における液状化被害と地理空間情報を活用した液状化発生危険度の予想, GSJ 地質ニュース, vol.2, No.12, 361-366.
- ・小荒井衛 (2013) : 災害特性に基づく地理的地域特性区分と活用, 都市計画, 306, 44-47.
- ・小荒井衛・中埜貴元 (2013) : 面積調でみる東京湾の埋め立ての変遷と埋立地の問題点, 国土地理院時報, 第 124 集, 105-115.
- ・小荒井衛・中埜貴元 (2013) : Liquefaction damage in the Kanto region caused by the 2011 off the Pacific coast of Tohoku Earthquake in Japan, and the land condition of damaged areas detected by time-series geospatial information (東日本大震災における液状化被害と時系列地理空間情報から把握した被災域の土地条件), 国土地理院報告 (欧文), 第 61 巻, 21-32.
- ・小林知勝・石本正芳・飛田幹男・矢来博司 (測地観測センター) (2014) : SAR 干渉解析のための数値気象モデルを用いた大気遅延誤差の低減処理ツールの開発, 国土地理院時報, 第 125 巻, 31-38.
- ・中埜貴元・岩橋純子・小荒井衛(2014) : 平成 25 年 (2013 年) 台風第 26 号に伴い伊豆大島で発生した大規模土砂災害に関連した地形解析, 国土地理院時報, 第 125 巻, 17-22.